

概況

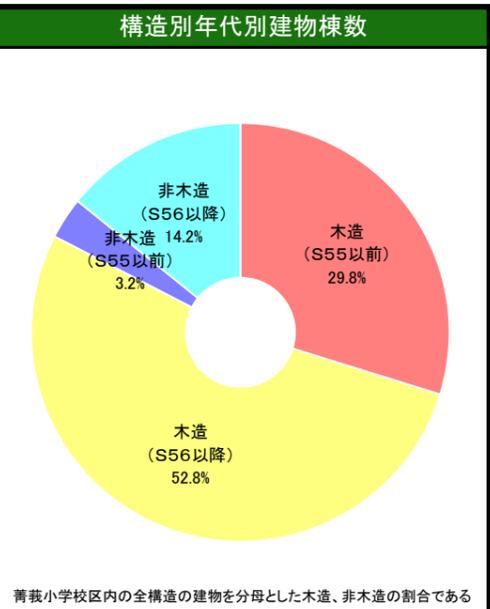
【地勢】
市の東部に位置し、面積7.91km²の地域である。隼人堀川、姫宮落川が東西に流れている。

【地形】
地域の大部分はローム台地で構成されている。

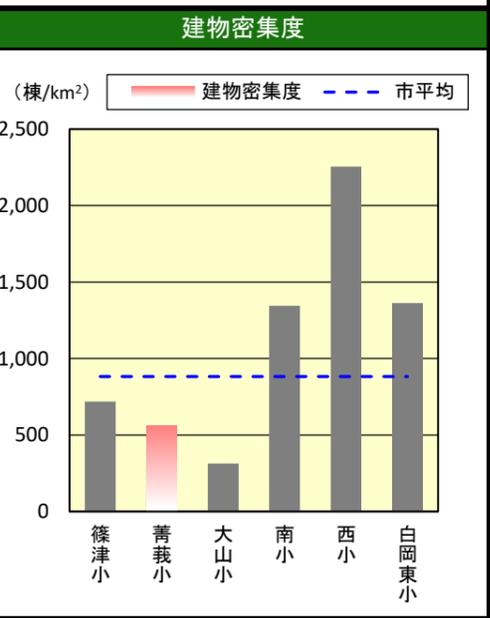
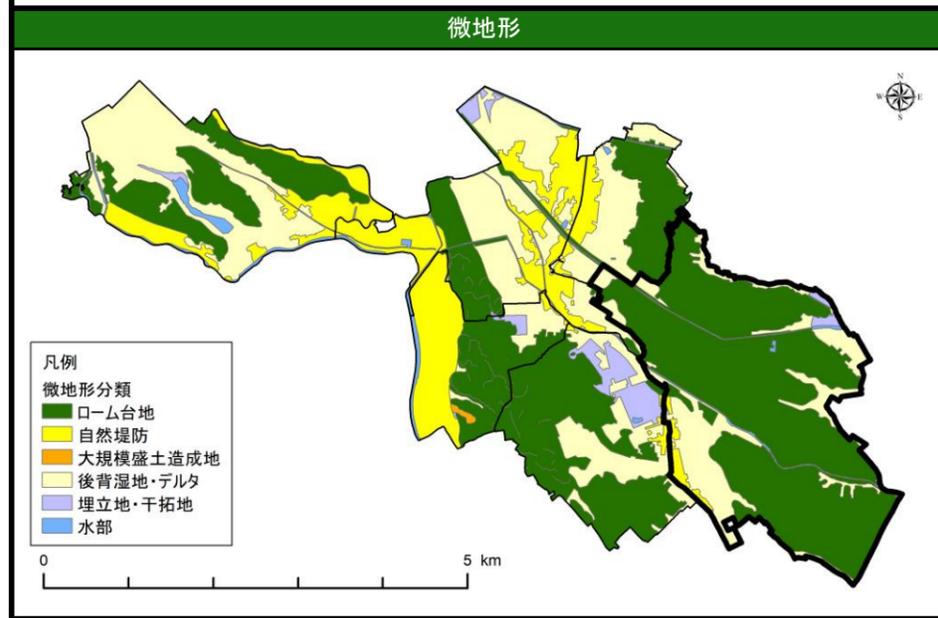
【人口】
6,775人で、市全体人口の12.84%である。
人口密度は約857人/km²である

【建物】
4,456棟で市全体建物棟数の約20.26%である。
旧耐震にあたる昭和55年以前に建設された建物の割合は、木造が32.86%、非木造が23.56%である。
新耐震にあたる昭和55年以降に建設された建物の割合は、木造が17.00%、非木造が18.02%である。
建物密集度は約563棟/km²である。

【防災施設】
指定避難所は、菁莪小学校、菁莪中学校の2箇所が指定されている。



		小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	
面積		7.91 km ²	24.92 km ²	31.74%	
人口・家屋の分布状況	人口	6,775 人	52,769 人	12.84%	
	人口密度	856.64 人/km ²	2,117.54 人/km ²	—	
	男女別人口	男	3,388 人	26,197 人	12.93%
		女	3,387 人	26,572 人	12.75%
	世帯数	2,971 世帯	22,724 世帯	13.07%	
	建物棟数	4,456 棟	21,993 棟	20.26%	
	建物分布状況	木造(S55以前)	1,328 棟	4,042 棟	32.86%
	木造(S56以降)	2,352 棟	13,832 棟	17.00%	
	非木造(S55以前)	143 棟	608 棟	23.56%	
	非木造(S56以降)	633 棟	3,511 棟	18.02%	
	密集度	563.42 棟/km ²	882.54 棟/km ²	—	



避難施設	施設名称	所在地	指定緊急避難場所	指定避難所
	菁莪小学校	上野田101-1	○	○
菁莪中学校	下野田927	○	○	

防災関連施設	市役所・警察・消防		要配慮者利用施設		
	施設名称	所在地	種類	地区内	市全域
			高齢者施設	3	18
			児童福祉施設	3	19
			障がい児・者施設	1	13
			医療施設	2	27
		学校	2	13	

地区の災害特性		防災対策の方向性	
風水害	●中川流域は、想定浸水深は0.5m以上～3.0m未満が東や南西側の一部地域を占めている。河川・水路沿いは家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)となっている。	●越水実績のある河川が存在します。ハザードマップを参考にし、避難所への安全な避難ルートを事前に確認しましょう。	●安心安全メールやホームページなど、市が発信する最新の避難情報を入力しましょう。
	●利根川・小山川は、想定浸水深は0.5m以上～3.0m未満が多くを占め、地区東及び南西側に3.0m以上～5.0m未満の浸水深が点在する。他河川と比較し、浸水範囲が最も広く、浸水深も深い。		
地震被害	●荒川は、浸水範囲は利根川・小山川よりやや狭いが、地区東及び南西側に3.0m以上～5.0m未満の浸水深が点在する。	●自主防災組織の設立や近隣の声掛けなど、地域の防災対策に取り組み、早めの避難行動をとりましょう。	●すでに浸水が始まっている場合は、無理に避難をせず、自宅の高い階へ避難しましょう。
	●関東平野北西縁断層帯地震では、地区の東側で5強、西側で6弱が想定されている。液状化危険度は東部や南西部が5<PL≤15でやや高い。		
	●茨城・埼玉県境地震では、地区の大部分で6弱が想定されている。液状化危険度は、地区の南西部、北東部では、15<PLと極めて高い。	●ハザードマップを参考にし、家具の固定や飛散防止フィルムを窓ガラスに貼る等対策をしましょう。	●地震時、家具が転倒する恐れがあります。寝室には高さのある家具の設置は控えましょう。
	●関東平野北西縁断層帯地震による全壊率は、ほぼ全域が0～3%である。		
	●茨城・埼玉県境地震による全壊率は、ほぼ全域が0～3%であり、南西部では3%以上の地域が少し点在する。	●地震の際は、落下物から身を守りましょう。	●耐震改修に係る市の補助制度を活用するなど建物の耐震化を行いましょう。

白岡市 地区別防災カルテ

<結果>

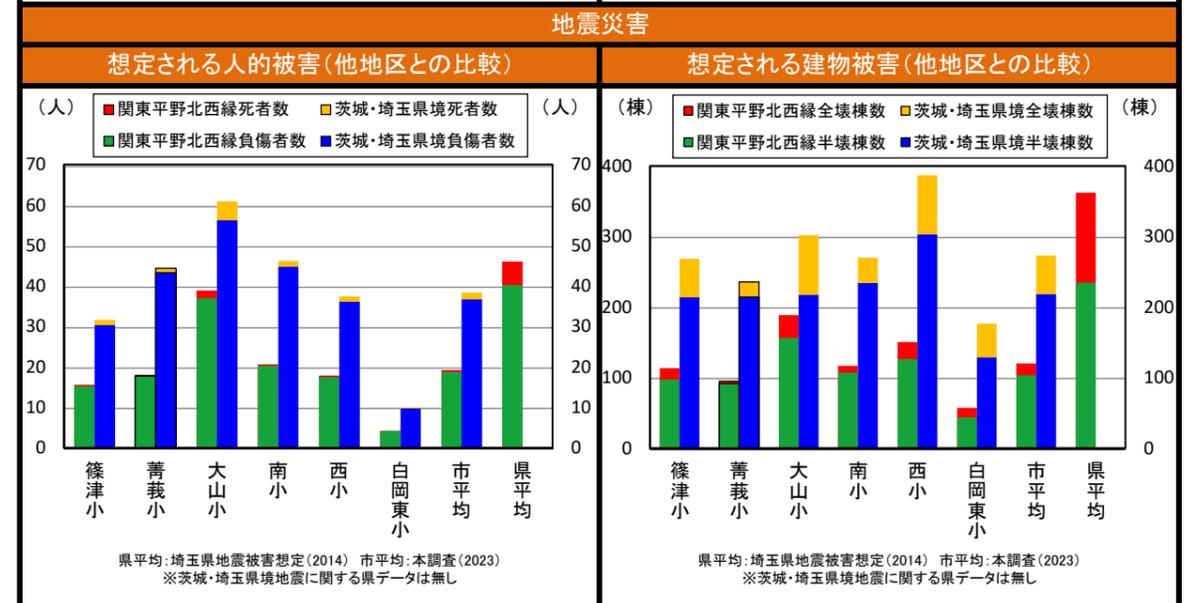
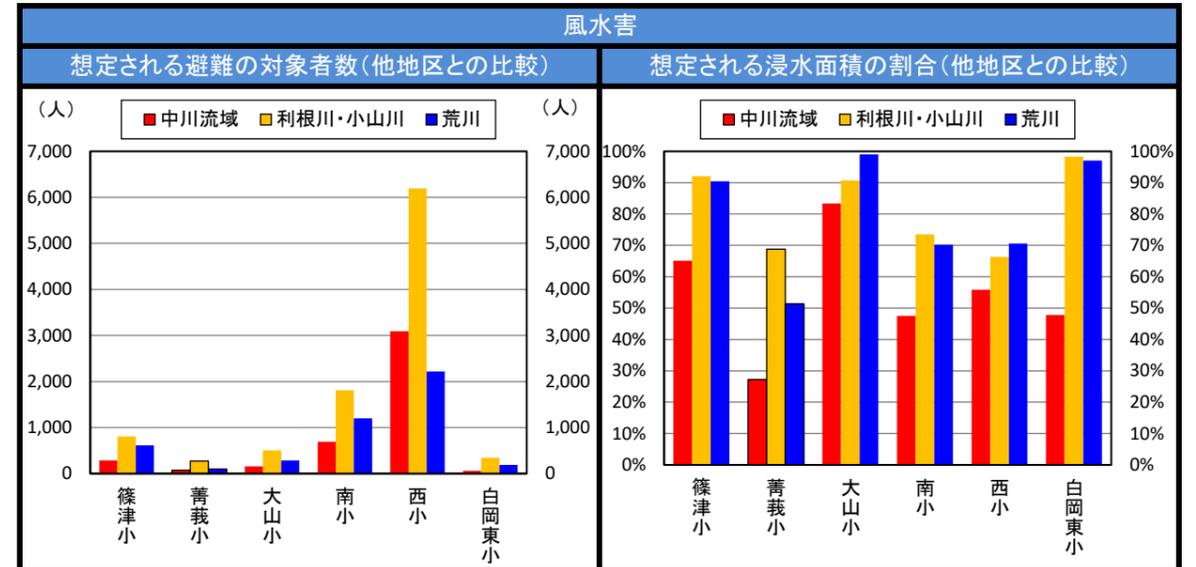
2 菁莪小学校区

風水害									
浸水想定被害結果		避難の対象者数(人)		浸水する住宅数(棟)		浸水面積(km ²)		収容人数過不足(人)	
		小学校区(a)	市全体合計(b)	小学校区(a)	市全体合計(b)	小学校区(a)	市全体合計(b)	収容人数	過不足
		中川流域浸水想定区域	75	4,363	25	1,390	2.16	12.87	461
利根川・小山川浸水想定区域	273	9,934	92	3,044	5.44	19.87	667	394	
荒川浸水想定区域	97	4,602	33	1,398	4.06	18.76	667	570	

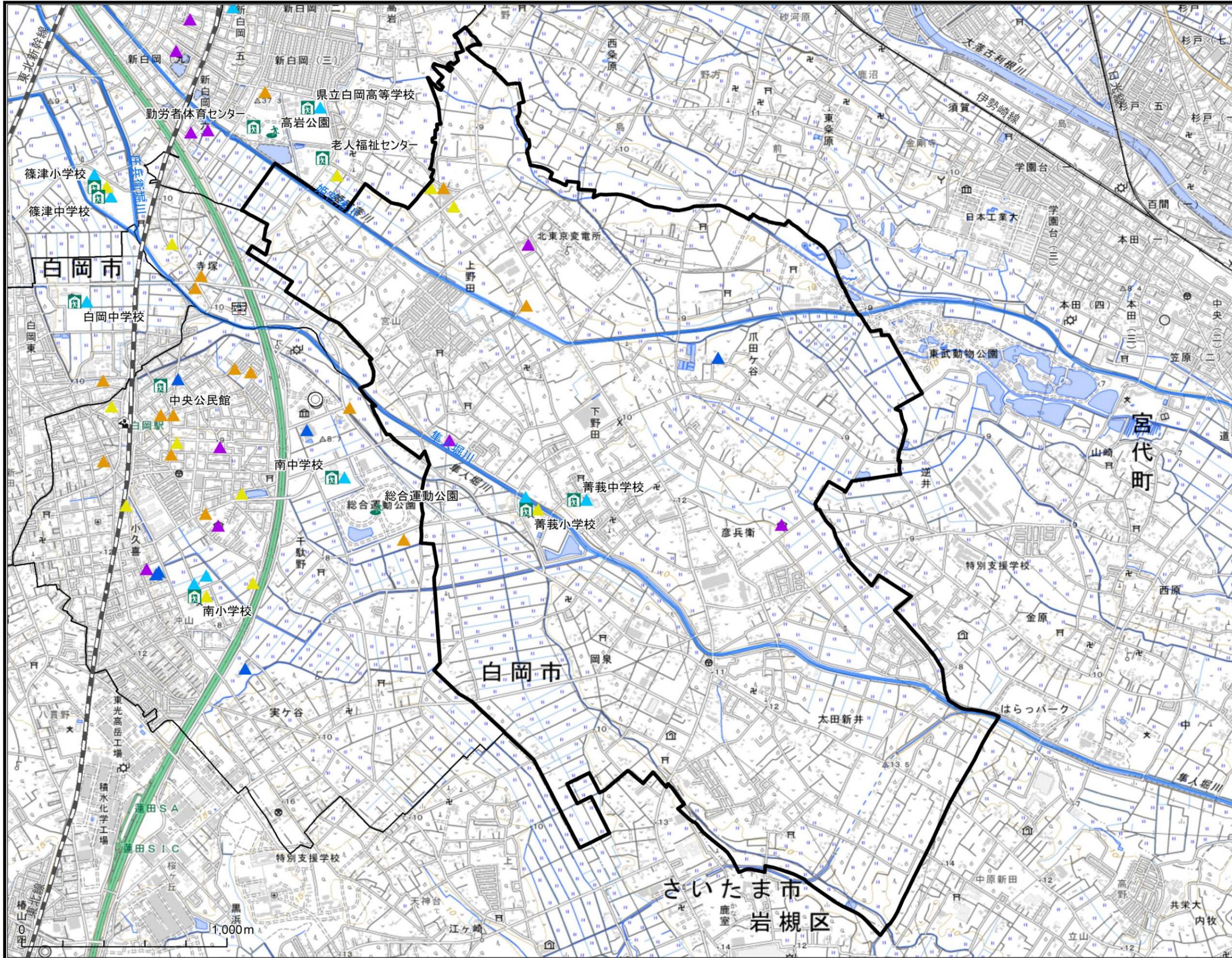
地震災害											
関東平野北西縁断層帯地震 被害想定結果	震度	震度					液状化危険度				
		最大震度		5.72			最大PL値				10.96
		5弱以下	5強	6弱	6強	7	PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL	
	面積(km ²)	0.00	4.72	3.19	0.00	0.00	6.11	0.00	1.80	0.00	
	面積率(%)	0.00	59.64	40.36	0.00	0.00	77.20	0.00	22.80	0.00	
	人的被害(人)			建物被害(棟)							
		小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)				小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	
	死者数	0	3	4.70%	木造	全壊	3	89	3.62%		
	負傷者数	18	113	15.65%		半壊	87	588	14.77%		
	重傷者数	0	6	4.65%	非木造	全壊	0	10	4.06%		
避難者数	24	380	6.22%	半壊		5	41	11.17%			
避難所避難者数	14	228	6.22%	火災	出火	0.01	0.26	—			
収容人数	843	収容人数過不足	829		焼失	0.01	0.44	3.16%			
上水道断水人口(人)			下水道支障人口(人)								
断水人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	支障人口			小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		
	2,547	24,720	10.30%				222	12,080	1.84%		

茨城・埼玉県境地震 被害想定結果	震度	震度					液状化危険度				
		最大震度		5.9			最大PL値				17.13
		5弱	5強	6弱	6強	7	PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL	
	面積(km ²)	0.00	0.26	7.65	0.00	0.00	6.11	0.00	0.00	1.80	
	面積率(%)	0.00	3.26	96.74	0.00	0.00	77.20	0.00	0.00	22.80	
	人的被害(人)			建物被害(棟)							
		小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)				小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	
	死者数	1	10	10.63%	木造	全壊	20	301	6.50%		
	負傷者数	43	222	19.48%		半壊	205	1,234	16.63%		
	重傷者数	2	18	10.55%	非木造	全壊	2	27	6.45%		
避難者数	75	1,144	6.54%	半壊		9	83	10.88%			
避難所避難者数	45	687	6.54%	火災	出火	0.05	0.79	—			
収容人数	843	収容人数過不足	87		焼失	0.08	10.12	0.80%			
上水道断水人口(人)			下水道支障人口(人)								
断水人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	支障人口			小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		
	3,763	36,943	10.19%				230	12,232	1.88%		

注 地震被害想定結果の建物被害、ライフライン被害は、冬18時強風時、死傷者数は冬深夜強風時の結果
 避難所避難者数、上水道断水人口、下水道支障人口は、地震発生直後の結果
 表中の(a)及び(b)の数字は、小数点以下を四捨五入しているため、割合(a/b)の数字と合わない場合もある



災害の種類	災害の評価(%)	数値	順位	評価指標
風水害	浸水(洪水) 洪水の影響を受ける避難人口率 避難の対象者数(人)/地区の総人口(人)	96.0	2/6	<p>評価指標は、上記の災害の種類を、災害の評価に基づき、各区1位が10点になるように表したものです。グラフの多角形面積が広いほど、地域が総合的に「災害に強い」とを示す。 ※洪水と地盤被害の県平均データは公開されていないため、中間値5点と仮定した。</p>
地震被害	地盤被害 液状化の被害面積率 危険度15<PL(m ²)/地区全体面積(m ²)	77.2	1/6	
	建物被害 地震による建物被害率 全壊棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	99.5	1/6	
	火災被害 火災による建物被害率 焼失棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	100.0	1/6	
	人的被害 地震災害による死傷人口率 死傷者数(人)/地区全体人口(人)	99.3	5/6	
	避難者 地震災害による避難人口率 避難所避難者数(人)/地区全体人口(人)	99.3	1/6	



菁莪小学校区及びその周辺の指定避難所、指定緊急避難場所、公共施設、要配慮者利用施設を表示した図である。



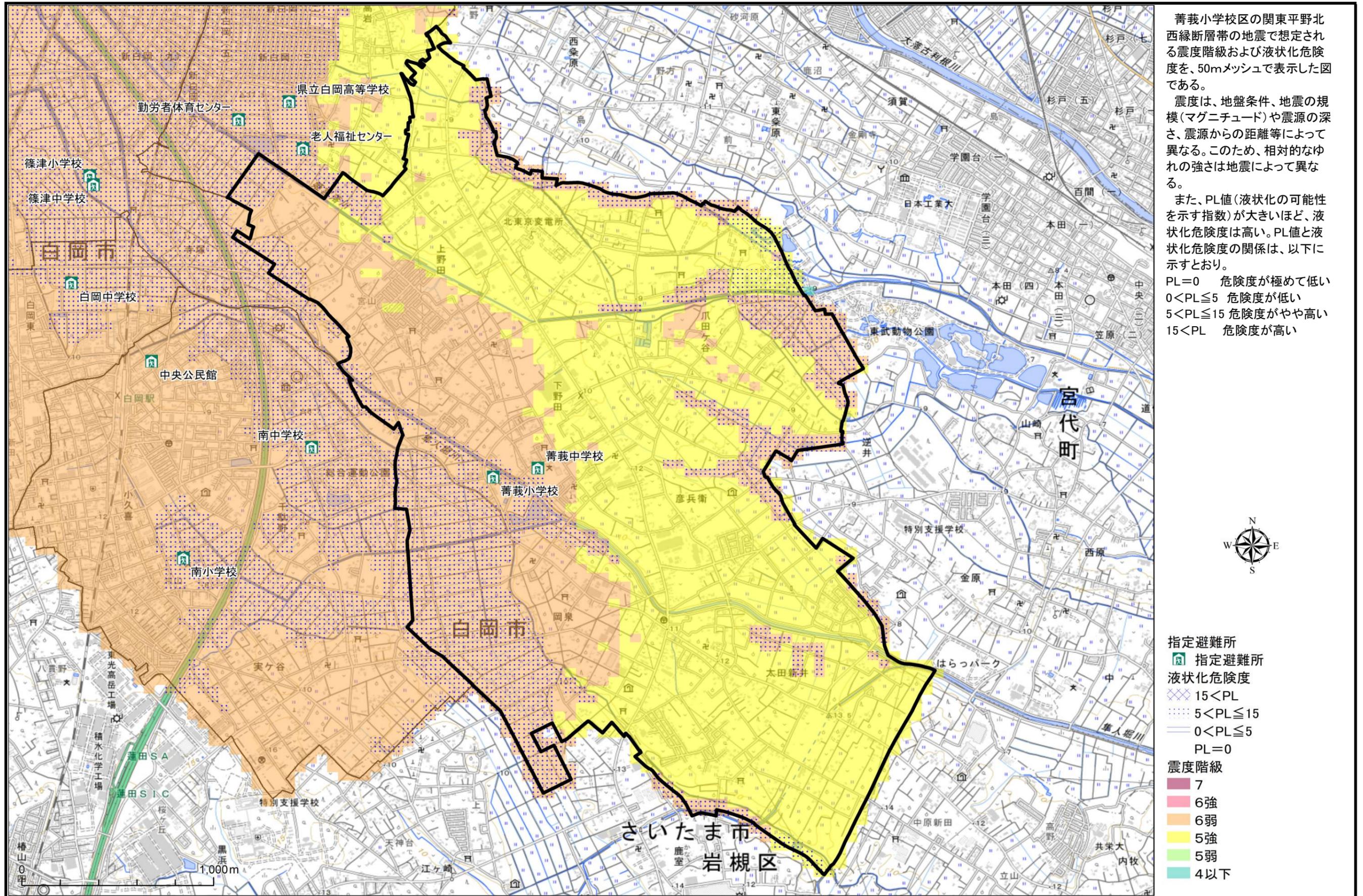
- 市役所
- 🏠 指定避難所
- 🚒 指定緊急避難場所
- 🚒 消防署
- 👮 警察(駐在所・交番)
- 👴 要配慮者施設_高齢者施設
- 👶 要配慮者施設_児童福祉施設
- ♿ 要配慮者施設_障がい児・者施設
- 🏥 要配慮者施設_医療施設
- 🎓 要配慮者施設_学校

※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用

白岡市 地区別防災カルテ

＜地震 想定される震度および液状化危険度分布図 関東平野北西縁断層帯の地震＞

2 菁莪小学校区

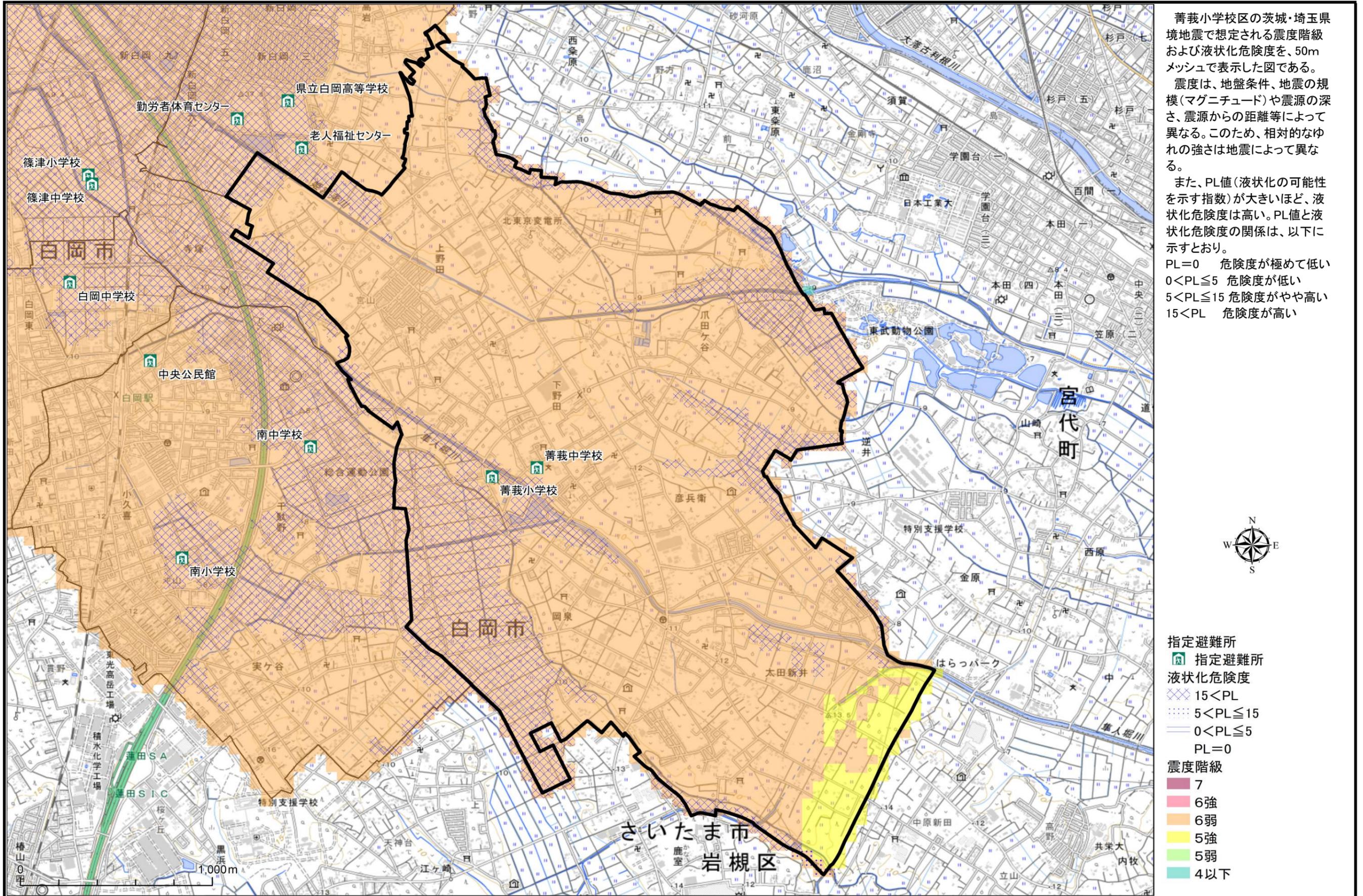


※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用

白岡市 地区別防災カルテ

＜地震 想定される震度および液状化危険度分布図 茨城・埼玉県境地震＞

2 菁莪小学校区

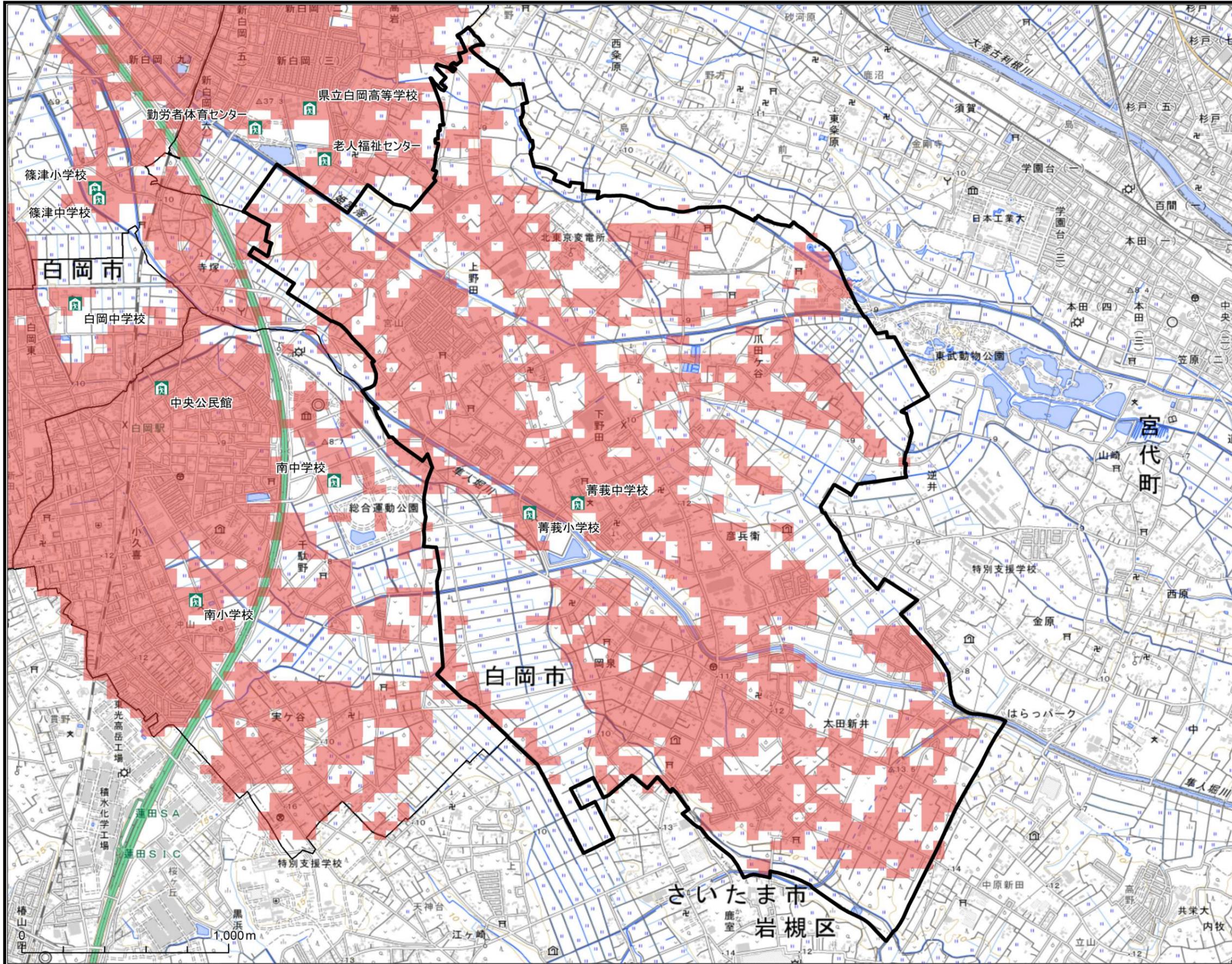


※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用

白岡市 地区別防災カルテ

<地震 想定される建物全壊率分布図 関東平野北西縁断層帯地震>

2 菁莪小学校区



菁莪小学校区の関東平野北西縁断層帯地震で想定される建物全壊率を50mメッシュで表示した図である。
 建物全壊率は、ゆれの強さ、液状化の程度、建物の構造、建築年代等によって異なる。



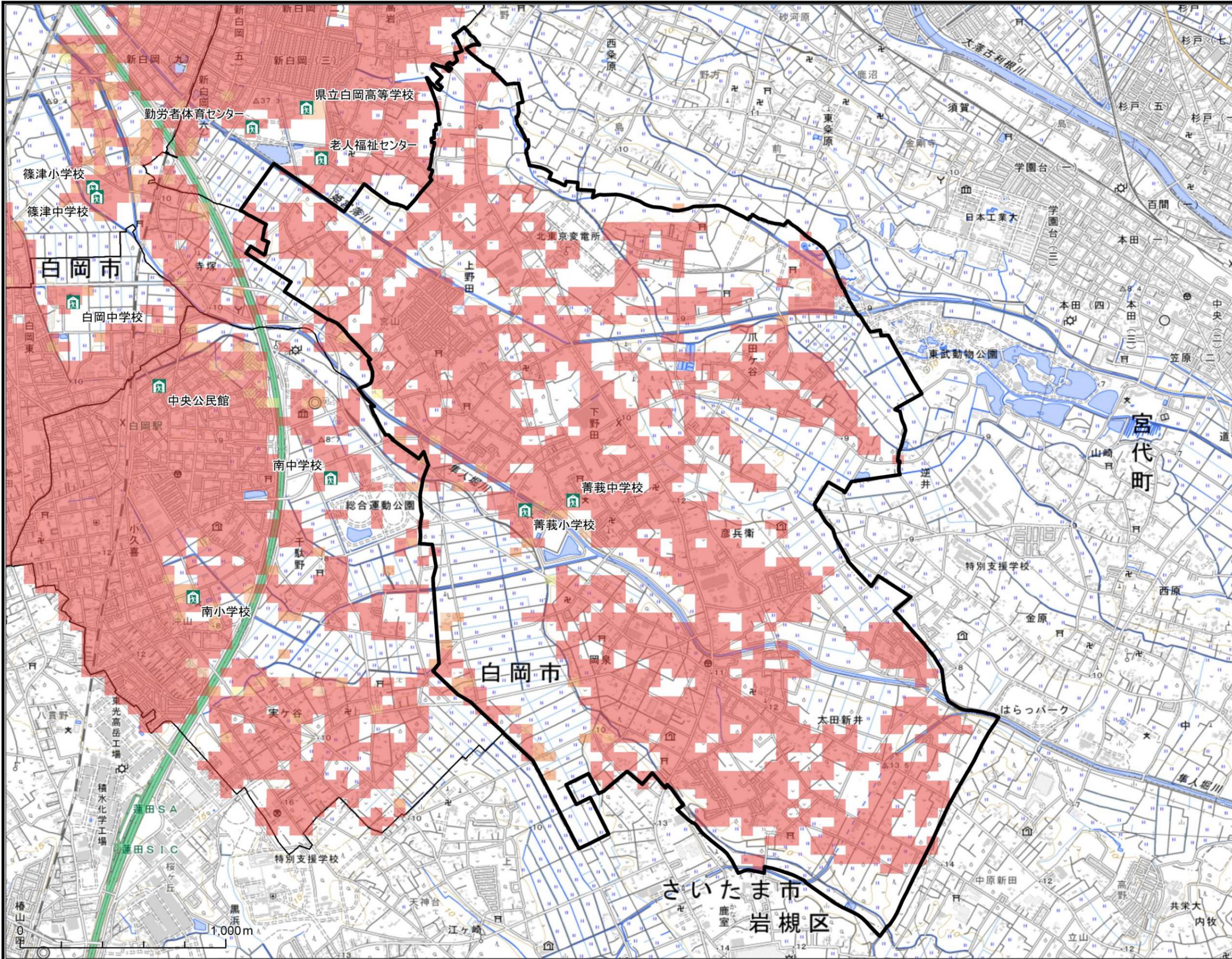
- 指定避難所
- 指定避難所
- 建物全壊率
- 10%以上
- 7~10%
- 5~7%
- 3~5%
- 0~3%

※背景図は地理院タイル（淡色地図）、鉄道、道路、駅は国土数値情報（国土交通省）を使用

白岡市 地区別防災カルテ

<地震 想定される建物全壊率分布図 茨城・埼玉県境地震>

2 菁莪小学校区

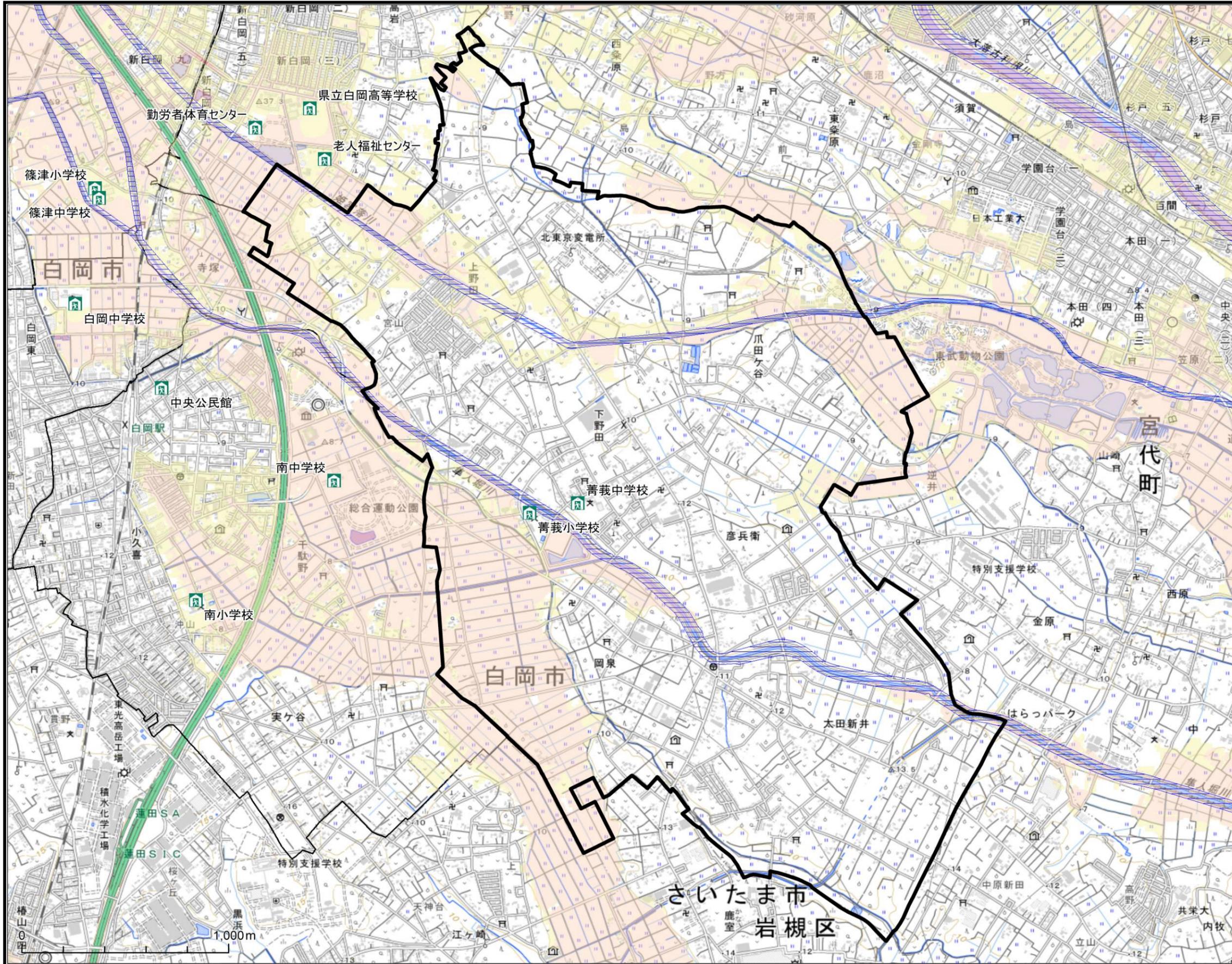


菁莪小学校区の茨城・埼玉
県境地震で想定される建物全
壊率を50mメッシュで表示した
図である。
建物全壊率は、ゆれの強さ、
液状化の程度、建物の構造、
建築年代等によって異なる。



- 指定避難所
- 指定避難所
- 建物全壊率
- 10%以上
- 7~10%
- 5~7%
- 3~5%
- 0~3%

※背景図は地理院タイル（淡色地図）、鉄道、道路、駅は国土数値情報（国土交通省）を使用

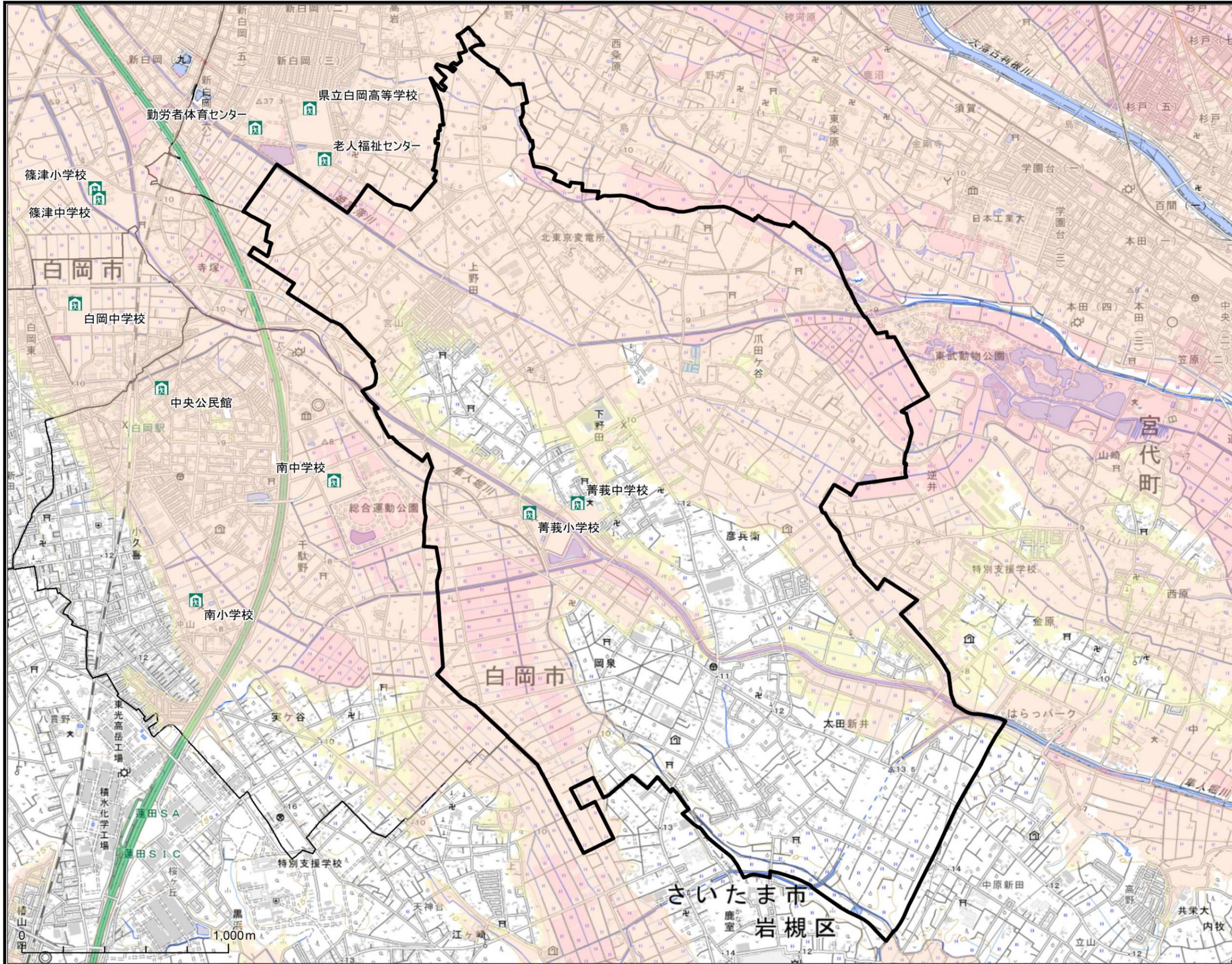


菁莪小学校区の中川流域の浸水想定区域を示した図である。
 浸水想定区域は、浸水被害想定調査で対象とした河川のうち、中川流域の浸水想定区域を浸水深別(0.5m未満、0.5～3.0m未満、3.0～5.0m未満、5.0～10.0m未満、10.0～20.0m未満)に表示した。
 ※浸水想定区域図とは、水防法により河川管理者が、降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を示したものである。
 ※家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)とは、河川の流れにより河岸が削られ土地が流出するおそれがある区域である。



- 指定避難所
- 指定避難所
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 河岸侵食
- 想定最大規模
- 浸水深ランク
- 10.0m以上20.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 0.5m未満

※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用

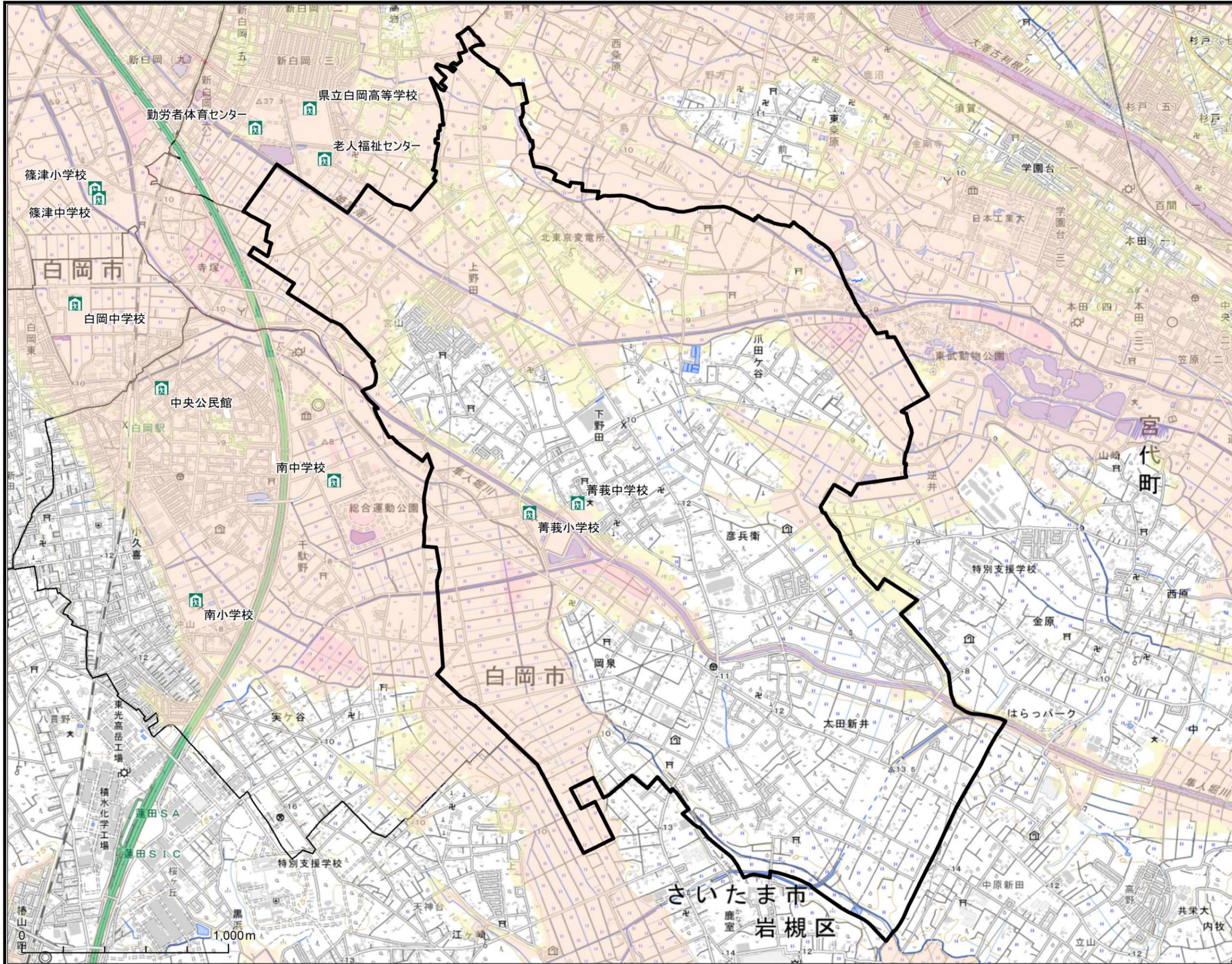


菁莪小学校区の利根川・小山川の浸水想定区域を示した図である。
 浸水想定区域は、浸水被害想定調査で対象とした河川のうち、利根川・小山川の浸水想定区域を浸水深別(0.5m未満、0.5～3.0m未満、3.0～5.0m未満、5.0～10.0m未満、10.0～20.0m未満)に表示した。
 ※浸水想定区域図とは、水防法により河川管理者が、降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を示したものである。



- 指定避難所
 指定避難所
 想定最大規模
 浸水深ランク
- 10.0m以上20.0m未満
 - 5.0m以上10.0m未満
 - 3.0m以上5.0m未満
 - 0.5m以上3.0m未満
 - 0.5m未満

※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用



菁莪小学校区の荒川の浸水想定区域を示した図である。
 浸水想定区域は、浸水被害想定調査で対象とした河川のうち、荒川の浸水想定区域を浸水深別(0.5m未満、0.5～3.0m未満、3.0～5.0m未満、5.0～10.0m未満、10.0～20.0m未満)に表示した。
 ※浸水想定区域図とは、水防法により河川管理者が、降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を示したものである。



- 指定避難所
- 指定避難所
- 想定最大規模
- 浸水深ランク
- 10.0m以上20.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 0.5m未満

※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用